資 料 8

第１期中期目標期間（見込）事業報告書

第1期（平成26年10月1日～平成31年3月31日）

平成30年6月

地方独立行政法人大阪市民病院機構

第2 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		事業年度評価結果					中期目標期間の評価	評価の理由
		H26	H27	H28	H29	H30		
中期目標	中期計画	B	B	A		ー	A	
1 高度専門医療の提供及び医療水準の向上 (1) 市の医療施策推進における役割の発揮 ① 各病院の役割に応じた医療施策の実施 ・ 5疾病及び4事業を中心に政策医療の充実 ・ 手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療や緩和ケア医療の提供 ・ 一類及び二類感染症患者の受入などの円滑な対応 ・ 結核患者の積極的な受入や合併症を有する結核患者の受入への対応 ・ 大阪市南部基本保健医療圏で不足する小児・周産期医療の提供 住吉市民病院跡地へ暫定的に診療所を設け、小児・周産期1次医療に対応	1 高度専門医療の提供及び医療水準の向上 (1) 市の医療施策推進における役割の発揮 ア 総合医療センター ① 役割に応じた医療施策の実施 ・ 5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)への対応 ・ 救命救急医療、総合周産期母子医療センターとしての総合周産期医療、小児の高度専門医療、総合的がん医療、精神科救急・合併症医療、感染症医療など高度・専門的医療の提供	【実績】 ＜総合医療センターにおける医療施策の実施＞ ■ 5疾病への対応 5疾病にかかる高度専門医療の提供とともに、生活習慣病等について医学講座等における啓発活動の実施 ・ 医師への緊急診療依頼の直通電話であるニューロライン(脳卒中)、ハートライン(心疾患)の開始【平成26年度～】 ・ 大動脈弁狭窄症の新たな治療法TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)の施設認定を受け治療を開始【平成28年度～】 ■ 救命救急医療 救命救急センターで、24時間365日の三次救急医療を提供 ・ 重症病床群の再編による集中治療室の増床(36床→40床)【平成28年度】 ・ ER・外傷センターの設置【平成29年度】及び増床(8床→12床)【平成30年度】 ■ 総合周産期医療 総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩、1000g未満の超低出生体重児への対応など高度な周産期医療を提供 ・ 助産師外来の開設【平成30年度】 ・ NICUの改修工事実施【平成30年度】 ■ 小児の高度専門医療 約20の小児の診療科(144床)において高度かつ専門的な小児医療を提供 ・ 小児青年がん・脳腫瘍センター、小児青年てんかん診療センターの設置【平成27年度】 ・ PICUの設置【平成28年度～】 ・ AYA世代病棟の新設【平成30年度～】 ■ 総合的がん医療 手術・放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供 ・ 緩和ケアセンター、ブレストセンター、ウィメンズセンターの設置【平成27年度】	公立病院の役割である政策医療を着実に実施し、病棟の改修や体制整備などにより、今後地域により求められる高度・専門医療の充実を図れた。

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>② 診療機能の充実
・ 市の医療施策における役割を着実に果たし、新たな医療課題に適切に対応する医療機能の充実
・ 患者動向や医療需要の変化に即した診療部門の充実や見直し</td>
<td>② 診療機能の充実
（がん医療）

・ 地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び緩和医療の提供

・ 放射線治療機器IGRTの新設</td>
<td>■ 精神科救急・合併症医療
精神科病床を有する大規模総合病院の特色を活かし、他の診療科と連携した精神科リエゾン・コンサルテーションを実施

■ 感染症医療
大阪市内で唯一の第一種感染症病床1床を有し、一類感染症発生への対応に備えている

■ 高度・専門的医療の提供
・ 手術室の増室（15室→20室）【平成27年度、平成29年度】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>手術件数（件）</td><td>9,838</td><td>9,899</td><td>10,409</td><td>11,675</td></tr>
</table>
・ DPCⅡ群取得【平成28年度】、特定病院群（旧DPCⅡ群）取得【平成30年度】
・ 総合入院体制加算1取得【平成28年度】
・ PFM面談室11室、看護外来3ブースを新設【平成28年度】
・ リウマチセンターの設置【平成28年度】
・ スーパーICUの設置（28床）【平成28年度】≪再掲≫

■ がん医療の新しい取り組み
・ がんゲノム医療連携病院に認定【平成30年度】

■ 地域がん診療連携拠点病院としての役割の遂行
・ 緩和ケアセンターの創設によるがん相談体制の強化【平成27年度～】
・ 就労支援の一環として、がんの基礎知識や雇用管理のポイントなどを説明する研修会の実施【平成26年度～】

■ 高精度放射線治療機器IGRTの新設【平成27年度】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>放射線治療件数（件）</td><td>6,217</td><td>7,241</td><td>7,815</td><td>8,074</td><td>8,600</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
	・ 外来化学療法室の拡充 （高齢者疾患への対応） ・ SCUの稼働 ・ 高齢者の代表的な疾患である骨粗しょう症、動脈硬化性疾患等への対応	■ 外来化学療法室の拡充（17床→32床）【平成29年度】 ■ SCUでの脳卒中等医療の提供 ■ 高齢者の代表的な疾患への対応	

■ 外来化学療法室の拡充（17床→32床）【平成29年度】

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
外来化学療法件数（件）	9,827	10,386	10,871	10,888	12,600

■ SCUでの脳卒中等医療の提供

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
SCU入院患者数（件）	1,647	1,585	1,706	1,810

■ 高齢者の代表的な疾患への対応

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
股関節大腿近位骨折	94	150	147	142
膝関節症	115	108	127	152
股関節症	69	63	82	89
閉塞性動脈疾患	134	127	123	136
脳梗塞	163	124	193	207
狭心症	465	353	269	293
急性心筋梗塞	49	66	65	77

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
	（救急医療） ・ 三次救命救急センターとして、重症患者の受入に対応した医療機能の充実 （周産期医療） ・ 総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊婦や1,000g未満の超低出生体重児、疾患のある新生児への対応などの高度な周産期医療の提供	■ 重症患者への対応 区分 / 平成26年度実績 / 平成27年度実績 / 平成28年度実績 / 平成29年度実績 / 第1期計画目標 救急車搬送件数（件） / 3,887 / 4,117 / 4,389 / 4,323 / 5,000 ■ 三次救命救急センターの新しい取組 ・ 医師への緊急診療依頼の直通電話であるニューロライン（脳卒中）、ハートライン（心疾患）の開始【平成26年度～】≪再掲≫ ■ 総合周産期母子医療センターとしての役割の遂行 ・ 大阪府におけるOGCS及びNMCSからの搬送患者の受入れ要請に積極的に対応 区分 / 平成26年度実績 / 平成27年度実績 / 平成28年度実績 / 平成29年度実績 OGCS取扱件数（件） / 142 / 167 / 174 / 158 NMCS取扱件数（件） / 187 / 218 / 196 / 191 OGCS：産婦人科診療相互援助システム NMCS：新生児診療相互援助システム ■ 超低出生体重児の受入れ 区分 / 平成26年度実績 / 平成27年度実績 / 平成28年度実績 / 平成29年度実績 1,000g未満超低出生体重児取扱件数（件） / 28 / 43 / 33 / 30	

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td>（小児医療）
・ 小児の高度専門医療の提供

・ 小児がん拠点病院として、地域の小児がん診療の中心的な役割を担う

・ 小児救急基幹病院として、小児病棟の増床、PICU、小児救急病床を設置

（精神医療）
・ 総合病院の特性を活かした精神科救急・合併症医療の提供

（感染症医療）
・ 一類・二類感染症、新興感染症等への迅速な対応、集団発生等の大規模感染症発生への円滑な対応</td>
<td>■ 小児の高度専門医療≪再掲≫
・ 約20の小児の診療科（144床）において高度かつ専門的な小児医療を提供
・ 小児青年がん・脳腫瘍センター、小児青年てんかん診療センターの設置【平成27年度】

■ 小児がん拠点病院としての役割の遂行
・ 拠点病院として、小児の専門的ながん治療を提供
・ こどもサポートチームによる子どもとその家族への幅広いサポートの実施
・ AYA世代病棟の新設【平成30年度】
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>小児がん登録件数（件）</td><td>88</td><td>93</td><td>96</td><td>77</td></tr></table>
■ 小児救急医療
・ PICUの設置【平成28年度】≪再掲≫

■ 精神科救急・合併症医療
・ 緊急措置入院の受入れとともに、身体診療科と連携し、身体合併症患者の積極的な受入れの実施
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr><tr><td>精神科救急・合併症件数（件）</td><td>89</td><td>81</td><td>96</td><td>85</td><td>90</td></tr></table>
■ 感染症医療
・ エボラ出血熱患者の受入れ体制の整備【平成26年度】
・ 新型インフルエンザ疑い患者の受入れ・搬送訓練に参加【平成27年度～】</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>・ 結核患者の積極的な受入や合併症を有する結核患者の受入への対応≪再掲≫</td>
<td>イ 十三市民病院
① 役割に応じた医療施策の実施
・ 結核医療を含む呼吸器医療の提供

・ 地域の医療ニーズに応え、近隣の医療機関との連携・機能分担を踏まえた急性期医療の提供（内科救急、小児・周産期医療など）

② 診療機能の充実
・ 合併症にも対応した結核医療の提供

・ 時間外の地域医療機関からの患者受入れや、地域の医療ニーズに応えた急性期医療の提供</td>
<td>＜十三市民病院における医療施策の実施＞

■ 結核医療
・ 結核病床（39床）での結核医療の提供

■ 急性期医療の提供
・ HCUの新設（5床）【平成29年度】

■ 合併症にも対応した結核医療
・ 消化器系疾患のほか、循環器系、泌尿器系、整形外科、呼吸器等、広範囲に渡る合併症患者に対応
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>結核延患者数（人）</td><td>10,584</td><td>11,475</td><td>11,820</td><td>11,756</td><td>8,760</td></tr>
<tr><td>合併症を有する結核
新入院患者数（人）</td><td>118</td><td>142</td><td>172</td><td>160</td><td>50</td></tr>
</table>
■ 救急医療への対応
・ 内科系二次救急の拡充
日曜日→土曜日にも拡充【平成26年度】、長期連休時の受入を実施【平成27年度～】、月曜日・金曜日にも拡充【平成29年度】
・ 全日（365日24時間）の二次救急開始【平成30年度～】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>時間外地域医療機関
からの受入れ（件）</td><td>121</td><td>344</td><td>341</td><td>400</td><td>240</td></tr>
<tr><td>救急搬送件数（件）
（内科系二次救急）</td><td>136</td><td>247</td><td>557</td><td>798</td><td>159</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>時間内地域医療機関からの受
入れ（件）</td><td>428</td><td>708</td><td>764</td><td>907</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>・ 大阪市南部基本保健医療圏で不足する小児・周産期医療の提供
住吉市民病院跡地へ暫定的に診療所を設け、小児・周産期1次医療に対応≪再掲≫</td>
<td>ウ 住吉市民病院
① 役割に応じた医療施策の実施
・ 大阪市南部基本保健医療圏で不足する小児・周産期医療の提供、地域周産期母子医療センターとして周産期医療の提供

・ 小児救急を含む小児医療の提供

② 診療機能の充実
・ 地域周産期母子医療センターとして、大阪市南部基本保健医療圏に不足する小児二次救急を含む小児医療及び周産期医療の提供

・ 最長平成29年度末まで運営を行い、閉院に向けて患者の転院等手続の適切な実施

・ 住吉市民病院跡地に、暫定的に住之江診療所を設け、小児科及び周産期の一次医療を提供</td>
<td>＜住吉市民病院における医療施策の実施＞

■ 地域周産期母子医療センターとしての役割
・ 大阪府におけるOGCS及びNMCSからの搬送患者の受入れ要請に積極的に対応
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>OGCS取扱件数（件）</td><td>14</td><td>11</td><td>10</td><td>10</td></tr>
<tr><td>NMCS取扱件数（件）</td><td>60</td><td>72</td><td>36</td><td>7</td></tr>
</table>
■ 小児医療
・ 小児の二次救急医療を提供【閉院準備のため平成26年10月から休止】

■ 小児・周産期医療
・ 地域周産期母子医療センターとして、小児・周産期医療を実施
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th><th>第1期計画目標</th></tr>
<tr><td>NICU稼働率（%）</td><td>72.6%</td><td>68.4%</td><td>45.6%</td><td>12.6%</td><td>30.0%</td></tr>
</table>
閉院準備のためNICUの稼働は平成29年9月末で終了
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th><th>第1期計画目標</th></tr>
<tr><td>救急車搬送件数（件）</td><td>100</td><td>72</td><td>65</td><td>68</td><td>50</td></tr>
</table>
住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>分娩件数（件）</td><td>611</td><td>567</td><td>547</td><td>413</td></tr>
</table>
・ 府市共同住吉母子医療センターの開設【平成30年度】

・ 閉院に向けて患者の転院等手続きを実施【平成29年度】

・ 住之江診療所を開設【平成30年度】</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>③ 新しい治療法の開発・研究等
・ 新しい治療法の開発や臨床研究への取組、先進医療の推進など、市域の医療水準の向上を図る</td>
<td>③ 新しい治療法の開発・研究等
・ 各病院の特徴を活かし、臨床研究及び民間医療機関等との共同研究への取組など、市域の医療水準の向上を図る

・ 総合医療センターにおける先進医療制度の利用、遺伝子診断研究への取組、臨床研究や臨床試験の推進</td>
<td>■ 臨床研究及び共同研究への取組
・ 革新的がん医療の実用化や難治性疾患等実用化に向けての多施設共同研究を実施
・ 総合医療センターにおいて、質の高い審査体制を整備しているとして、厚生労働省より倫理審査委員会の認定を受ける（公立病院としては全国初）【平成29年度】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>厚生労働省・文部科学省科学研究費助成研究実施数（件）</td><td>26</td><td>35</td><td>30</td><td>23</td></tr>
</table>
■ 先進医療制度の利用
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>先進医療制度の利用（件）</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td></tr>
</table>
■ 遺伝子診断研究への取組
・ 遺伝子診療部門で臨床各科の遺伝子診療のニーズに応えるほか、院外からの遺伝子疾患の診療・カウンセリング依頼にも対応
・ 総合医療センターにおいて、がんゲノム医療連携病院に認定【平成30年度】≪再掲≫
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>遺伝子検査件数（件）</td><td>565</td><td>468</td><td>621</td><td>605</td></tr>
<tr><td>遺伝カウンセリング出生前診断初診件数（件）</td><td>719</td><td>763</td><td>717</td><td>569</td></tr>
</table>
■ 臨床研究や臨床試験の推進
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>臨床研究（新規）（件）</td><td>191</td><td>192</td><td>148</td><td>190</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>④ 治験の推進
・ 治療の積極的な推進</td>
<td>④ 治験の推進
・ 治療の効果及び安全性を高めるための積極的な治験の実施

・ 総合医療センターにおける「医師主導治験」への積極的な取組</td>
<td>■ 積極的な治験の実施
・ 臨床試験（介入試験）や治験研究を通じて、病態解明や診断と治療に直結する研究を実施
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>企業治験（件）</td><td>76</td><td>84</td><td>78</td><td>77</td></tr>
<tr><td>製造販売後臨床試験（件）</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>受託調査（件）</td><td>187</td><td>162</td><td>176</td><td>186</td></tr>
</table>
▽【十三市民病院】 受託調査　平成26年度：10件　平成27年度：6件
平成28年度：3件　平成29年度：3件

■ 「医師主導治験」への積極的な取組
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>医師主導治験（件）</td><td>5</td><td>7</td><td>8</td><td>11</td></tr>
</table>
</td>
<td rowspan="2"></td>
</tr>
<tr>
<td>⑤ 災害や健康危機における医療協力等
・ 災害時における大阪府災害拠点病院及び市町村災害医療センターとして患者の受け入れ

・ 健康危機事象の発生時における市域の医療機関の先導的役割</td>
<td>⑤ 災害や健康危機における医療協力等
・ 災害拠点病院の総合医療センターを中心に、医療物資や医薬品の備蓄、防災訓練や災害医療訓練への参画

・ 災害派遣医療チームDMATの編成が可能であり、災害等発生時に迅速な対応ができるよう、専門的な訓練への参加</td>
<td>■ 災害拠点病院としての取組
・ 非常食や飲料水の備蓄
・ 大阪市総合防災訓練への参加【平成26年度】
・ 院内災害対策訓練の実施【平成27年度～】
・ 大阪府・大阪市合同総合防災訓練への参加【平成27年度】
・ 災害医療協力病院とともに災害対策訓練を実施【平成28年度】
・ 大阪府災害対策本部とともに大規模地震時医療活動訓練に参加【平成29年度】
・ 井戸水の供給施設を設置し、災害時の生活用水を確保【平成29年度】

■ 災害等発生時への対応
・ 常時、日本DMAT2隊及び大阪府DMAT1隊の編成可能【平成26年度～】
・ 熊本地震発生時、熊本赤十字病院・熊本中央病院でのDMAT隊による支援活動【平成28年度】</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>(2) 診療機能充実のための基盤づくり
① 優秀な医療人材の確保・育成
・ 医師や看護師をはじめ、優れた医療人材の確保
・ 教育研修機能の充実及び専門資格の取得並びに自己研鑽(さん)・研究をサポートする仕組みづくり</td>
<td>(2) 診療機能充実のための基盤づくり
① 優秀な医療人材の確保・育成
ア 人材の確保
・「確保」「育成」「定着」を3本柱に優秀な人材の確保への取組

・ 年功による昇給制度の見直し及び業務内容に応じた処遇の検討、優秀な退職職員に対する柔軟な再雇用制度の創設などの検討

イ 職務能力の向上
・ 専門性を発揮できる働きやすい勤務環境やスキルアップのための研修の充実</td>
<td>■ 人材の確保・育成・定着への取組
・ 民間企業が主催する合同就職説明会への参加など採用PRの強化【平成26年度～】
・ 看護職への採用時・フォローアップ研修など基礎的能力の育成のための研修を充実【平成27年度～】
・ 多岐に渡りかつ少人数の専門職種を有する医療技術職について、人事面での一元管理と配置の流動性を高め、人材の定着・育成を図るため、医療技術職で構成される医療技術部を創設【平成27年度】
・ 病児保育の導入【平成30年度～】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th><th>第1期計画目標</th></tr>
<tr><td>初期臨床研修医から後期臨床研修医採用数(名)</td><td>11</td><td>9</td><td>11</td><td>10</td><td>8名以上</td></tr>
<tr><td>看護師離職率(%)</td><td>9.6%</td><td>7.9%</td><td>8.5%</td><td>8.9%</td><td>10%以下</td></tr>
</table>
■ 人事給与制度の再構築
・ 年功による昇給制度を見直し、役割と業績を反映した独自の人事給与制度を再構築し、看護職、医療技術職、病院事務職、医師に順次導入【平成27年度～】

■ 再雇用制度の創設
・ 優秀な退職職員に対する管理職ポストを含めた柔軟な再雇用制度の創設【平成26年度】

■ 勤務環境や研修体制の充実
・ 医療技術職の実務研修(レジデント)制度の導入【平成27年度～】
・ 看護職について、キャリア開発ラダーを活用した研修教育体制を整備【平成29年度】</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td></td><td>・ 若手医師の育成のため、プライマリケアを中心とした幅広い診療能力の習得のための研修プログラムを実施</td><td>■ 若手医師の育成への取組
・ シミュレーションセンターの整備による手技研修の充実【平成26年度～】
・ イブニングレクチャーでの問診技術研修の実施【平成26年度～】
・ 指導医体制の充実・強化【平成26年度】
・ NPO法人卒後臨床評価機構による臨床研修評価の認定【平成29年度】
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr><tr><td>初期臨床研修医育成数（名）</td><td>32</td><td>31</td><td>29</td><td>27</td><td>30名以上</td></tr><tr><td>後期臨床研修医育成数（名）</td><td>140</td><td>138</td><td>149</td><td>150</td><td>100名以上</td></tr></table><table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>初期研修医を対象とした研修・講座件数（件）</td><td>135</td><td>166</td><td>189</td><td>200</td></tr></table></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>② 職場環境の整備
・ 医療人材の働きやすい職場環境づくりのため、短時間正職員制度の導入など勤務形態の多様化を推進し、職員のワークライフバランスを充実させる</td><td>② 職場環境の整備
・ 働きやすい職場環境実現のため、短時間正職員制度や育児短時間勤務制度の導入と効果的な活用の推進</td><td>■ 働きやすい職場環境実現への取組
・ 育児短時間勤務制度の運用【平成26年度～】
・ 看護師の2交代勤務の対象病棟の拡大【平成26年度～】
・ 医療技術職等における変則勤務体制の導入【平成27年度～】
・ 看護師の有期雇用職員の病棟配置【平成27年度～】
・ 職員食堂の改修工事、営業時間の延長【平成29年度～】
・ 病児保育の導入【平成30年度～】≪再掲≫</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>③ 施設及び医療機器の計画的な整備
・ 計画的な施設改修及び医療機器の更新</td>
<td>③ 施設及び医療機器の計画的な整備
・ 大規模改修の計画的な実施

・ 医療の質の維持・向上に繋がる効率的・効果的な医療機器の整備</td>
<td>■ 大規模改修の計画的な実施
・ 総合医療センターにおいて、「高度急性期病院」によりふさわしい医療を提供するための施設整備として、PFM面談室の増設、重症病床群の集約化、手術室の増室、外来化学療法室の増床、外来診察室の増室、看護外来ブースの新設、NICUの改修等を計画的に実施【平成27年度～】≪再掲≫

■ 効率的・効果的な医療機器の整備
・ 競争的契約候補者決定法の採用【平成26年度～】
・ ランニングコスト付帯型入札の実施【平成26年度～】

<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>入札実施件数（件）</td><td>9</td><td>28</td><td>28</td><td>27</td></tr>
<tr><td>費用削減額（百万円）</td><td>24</td><td>22</td><td>16</td><td>16</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>(3) 市域の医療水準の向上への貢献
① 地域医療への貢献
・ 地域の医療機関との連携・連帯体制作りの推進により地域医療を充実、紹介率や逆紹介率の向上</td>
<td>(3) 市域の医療水準の向上への貢献
① 地域医療への貢献
・ 紹介率・逆紹介率の向上</td>
<td>■ 紹介率・逆紹介率の向上
紹介率
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>74.5%</td><td>83.8%</td><td>82.5%</td><td>81.5%</td><td>80.0%</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>33.9%</td><td>39.0%</td><td>46.5%</td><td>49.0%</td><td>35.0%</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>21.5%</td><td>20.3%</td><td>－</td><td>－</td><td>13.4%</td></tr>
</table>
住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載
逆紹介率
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>123.9%</td><td>86.6%</td><td>93.8%</td><td>112.9%</td><td>135.0%</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>・ 高度医療機器の共同利用の促進、医師等による医療機関等への支援、地域の医療従事者を対象とした研修会への医師等の派遣などの推進</td>
<td>・ 地域の医療機関との高度医療機器の共同利用の促進
・ 地域医療連携の充実</td>
<td>■ 地域医療連携の充実
・ 積極的な地域の医療機関訪問活動の実施
・ 十三市民病院において、地域の歯科診療所と嚥下機能評価や歯科治療、歯科相談について連携を実施【平成29年度～】
<table>
<tr><th></th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>連携登録医数（人）
【総合】</td><td>533</td><td>528</td><td>581</td><td>563</td></tr>
<tr><td>連携登録歯科医数（人）
【総合】</td><td>105</td><td>100</td><td>98</td><td>111</td></tr>
<tr><td>連携登録医数（人）
【十三】</td><td>171</td><td>195</td><td>216</td><td>227</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>② 市域の医療従事者育成への貢献
・ 看護師や薬剤師等の実習への積極的な協力</td>
<td>・ 地域医療連携向上のための研修を充実

② 市域の医療従事者育成への貢献
・ 市域の医療スタッフ資質向上のため、積極的な実習の受入</td>
<td>
■ 地域医療機関との高度医療機器の共同利用
<table>
<tr><th>高度医療機器の
共同利用件数(件)</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>CT</td><td>10</td><td>28</td><td>47</td><td>56</td></tr>
<tr><td>RI</td><td>83</td><td>62</td><td>81</td><td>63</td></tr>
</table>
■ 地域医療水準向上のための研修会の開催
<table>
<tr><th></th><th>平成26年度
実施回数(回)</th><th>平成27年度
実施回数(回)</th><th>平成28年度
実施回数(回)</th><th>平成29年度
実施回数(回)</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>34</td><td>42</td><td>42</td><td>47</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>10</td><td>11</td><td>15</td><td>21</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr>
</table>
■ 地域医療機関への広報
<table>
<tr><th>名称</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>地域医療機関向け広報誌(回)</td><td>23</td><td>23</td><td>29</td><td>29</td></tr>
</table>
■ 市域の医療スタッフの実習への積極的な協力
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>実習受入数</td><td>864</td><td>711</td><td>717</td><td>921</td></tr>
<tr><td>実習受入延数</td><td>8,719</td><td>7,271</td><td>7,211</td><td>8,409</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td>③ 市民への保健医療情報の提供・発信
・ 公開講座の開催、ホームページを活用した積極的な保健医療情報の発信</td><td>③ 市民への保健医療情報の提供・発信
・ 保健医療情報や臨床評価指標等について、ホームページによる積極的な情報発信

・ 市民を対象とした公開講座の開催</td><td>■ 保健医療情報等の積極的な情報発信
・ 病院ホームページの刷新及びスマートフォンにも対応した仕様への変更
【総合医療センター：平成29年度、十三市民病院：平成27年度】

■ 市民を対象とした公開講座
<table><tr><th>名称</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>市民公開講座等　開催回数（回）</td><td>19</td><td>25</td><td>28</td><td>25</td></tr></table></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>(4) より安心で信頼できる質の高い医療の提供
① 患者中心の医療の実践
・ 患者の権利の尊重の徹底

・ 十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底</td><td>(4) より安心で信頼できる質の高い医療の提供
① 患者中心の医療の実践
・ インフォームド・コンセントの理念に基づき、患者・家族等に対する十分な説明の徹底
・ 必要な医療情報を患者と共有し、患者・家族等との信頼関係を強化

・ がん相談支援センターを設置し、がんカウンセリングの実施</td><td>■ インフォームド・コンセントの実施状況の点検と充実のための取組
・ 各病院においてインフォームド・コンセントの徹底に努め、説明文書及び同意文書の点検を実施

■ がん患者に対する支援
・ がん相談支援センター設置による支援体制の充実
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>がん患者指導管理料1（件）
（がんカウンセリング）</td><td>197</td><td>303</td><td>302</td><td>303</td></tr></table><table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>がん相談（件）</td><td>2,943</td><td>2,925</td><td>3,923</td><td>4,486</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>・セカンドオピニオンや医療相談の実施</td>
<td>・転院や在宅医療への移行など社会復帰への支援

・セカンドオピニオン相談の実施

・新しい医療技術・機器の導入やチーム医療の充実により、患者の生活の質（QOL）を向上</td>
<td>・退院支援に従事する専任の看護師及びMSWを病棟単位で配置【平成28年度～】
・就労支援の一環として、企業の人事・労務担当者を対象にがんの基礎知識や雇用管理のポイントなどを説明する研修会の実施【平成26年度～】

<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>企業の担当者向け研修会（人）</td><td>32</td><td>87</td><td>72</td><td>117</td></tr>
</table>

■ セカンドオピニオン相談の実施

<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>セカンドオピニオン外来実施件数（件）</td><td>144</td><td>147</td><td>134</td><td>134</td></tr>
</table>

■ チーム医療の充実

<table>
<tr><th>医療チーム数</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>14</td><td>14</td><td>15</td><td>17</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>② 医療の標準化と最適な医療の提供
・ クリニカルパスの活用による、質の高い医療の提供</td>
<td>② 医療の標準化と最適な医療の提供
・ クリニカルパスの作成、適用及び見直し

・ 診療データの分析、経年変化及び他の医療機関との比較

・ DPCデータの他病院比較による医療の質向上と標準化の推進

・ 第三者機関の評価に基づく医療の質の確保・向上</td>
<td>■ クリニカルパスの運用
・ クリニカルパスに積極的に取り組んでいる診療科・病棟を評価するため、クリニカルパス大会を開催し、パス利用者の意識の向上を図る【平成26年度～】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>54.6%</td><td>53.7%</td><td>53.5%</td><td>54.2%</td><td>63.0%</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>56.9%</td><td>60.8%</td><td>78.6%</td><td>77.7%</td><td>66.0%</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>54.7%</td><td>53.5%</td><td>54.3%</td><td>72.3%</td><td>55.0%</td></tr>
</table>
■ 診療データの収集・分析
・ 各病院において、DPC分析ソフトの活用やベンチマークの実施による診療データの収集・分析を実施

■ DPC対象病院
・ 十三市民病院においてDPC導入【平成28年度～】
・ 他病院との比較検討などの分析を開始し、標準化に努める

■ 第三者機関の評価
・ 病院機能評価の受審：十三市民病院【平成28年度】、総合医療センター【平成30年度】

【総合医療センター】
・ 質の高い審査体制を整備しているとして、厚生労働省より倫理審査委員会の認定を受ける（公立病院としては全国初）【平成29年度】≪再掲≫
・ NPO法人卒後臨床評価機構による臨床研修評価の認定【平成29年度】≪再掲≫
・ 臨床検査部門において、国際規格ISO15189認定の取得【平成29年度】</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>③ 医療安全対策等の徹底
・ 医療安全対策の徹底、院内感染防止対策の確実な実施</td>
<td>③ 医療安全対策等の徹底
・ 有害事象の低減、医療事故の防止と信頼される医療の確立

・ 医療事故に関する情報の収集・分析による医療事故発生予防と再発防止への取組
・ 重大な医療事故については、「医療事故調査委員会」にて原因究明と再発防止策を策定

・「医療事故等の公表基準」に基づいた医療事故の公表

・ 職員の医療安全研修の積極的な参加

・ 医療機器の適切な管理体制の強化

・ 院内感染対策の充実</td>
<td>■ 医療安全に関する取組
・ 総合医療センターでは専従、十三市民病院・住吉市民病院では専任の医療安全管理者を配置し、院内全体で医療安全活動の実施

■ 医療事故発生予防と再発防止への取組
・「インシデント報告システム」により、迅速な情報の収集及び共有を行い、原因を分析して医療事故発生予防及び再発防止に取り組む

■ 医療事故公表基準に基づき、各病院のホームページにて各病院の「医療事故の状況」を公表

■ 職員の医療安全にかかる研修の実施
<table>
<tr><th>名称</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>医療安全に関する研修</td><td>34</td><td>27</td><td>35</td><td>29</td></tr>
<tr><td>院内感染対策に関する研修</td><td>15</td><td>24</td><td>24</td><td>25</td></tr>
</table>
■ 医療機器の点検
・ 医療安全の観点を踏まえた計画的な保守点検の実施
・ 医療機器の計画的な更新

■ 院内感染対策に関する取組
・ 専従の感染管理認定看護師の配置
・ 多職種で構成された感染防止対策チーム（ICT）による病棟回診
・ 多職種で構成された抗菌薬適正使用支援チーム（AST）による病棟回診</td>
<td></td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td>④ 低侵襲医療の推進
より低侵襲の医療を推進</td>
<td>・ 医薬品及び医療機器に関する安全情報の的確な提供、服薬指導の実施

④ 低侵襲医療の推進
・ ハイブリッド手術機器の導入

・ 医療ロボット ダヴィンチの導入</td>
<td>■ 服薬指導の充実
・ 各病院において、医薬品・医療機器に関する安全情報の周知徹底、服薬指導の充実
<table>
<tr><th>服薬指導件数（件）</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>10,602</td><td>13,135</td><td>15,548</td><td>20,362</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>4,482</td><td>6,035</td><td>5,558</td><td>5,216</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>155</td><td>55</td><td>11</td><td>29</td></tr>
</table>
■ ハイブリッド手術室の新設【平成26年度】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>ハイブリッド手術件数（件）</td><td>70</td><td>88</td><td>112</td><td>157</td></tr>
</table>
■ 大動脈弁狭窄症における経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）の認定施設【平成28年度】≪再掲≫
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>TAVI手術件数（件）</td><td>－</td><td>－</td><td>25</td><td>50</td></tr>
</table>
■ 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチの導入【平成27年度～】
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr>
<tr><td>ダヴィンチ手術件数（件）</td><td>－</td><td>28</td><td>81</td><td>88</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
2 患者・市民の満足度向上 (1) 院内環境等の快適性向上 ・ 施設や設備の改修・補修の実施 ・ 利便性を向上するための効果的な取組	2 患者・市民の満足度向上 (1) 院内環境等の快適性向上 ・ 改修・補修の計画的な実施、患者のプライバシーや清潔管理に配慮した院内環境の整備	■ 院内環境の整備 ・ 院内感染対策チームや患者サービス向上委員会等による環境ラウンドの実施 【総合医療センター】 ・ 内視鏡検査室の個室化、外来の多用途トイレの整備等の計画的な整備を実施【平成26年度～】 ・ 病棟個室のリニューアル【平成27年度】 ・ 院内の1階及び2階の各種サインと案内板の整備【平成29年度】 ・ 病棟の患者家族用トイレに便座クリーナー等の設置【平成29年度】 【十三市民病院】 ・ 病棟個室の備品更新【平成27年度】 ・ 外来トイレへの便座クリーナーの設置、多目的トイレ内におむつスタンドを設置【平成29年度】 ・ 窓口や受付機に荷物置き台を設置【29年度】 ・ 通院患者の利便性向上のため、無料送迎バスの運用を開始【平成29年度～】	
(2) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善 ・ 外来診療における待ち時間の短縮並びに受診時の負担感の軽減	(2) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善 ・ 外来待ち時間調査の定期的な実施及び待ち時間の改善	■ 外来待ち時間の改善 【総合医療センター】 ・ 分散会計の場所の拡大等【平成28年度】 【十三市民病院】 ・ 診察枠の見直し等、時間短縮に向けた取組みの推進【平成28年度～】	
	・ 待ち時間の有効な活用	■ 待ち時間の有効活用 ・ 電子掲示板により、イベント情報や医療情報を配信 ・ 診察状況案内ディスプレイにて様々な情報をテロップで配信 ・ 患者図書室、コンビニ、飲食店に診察状況案内ディスプレイを設置することによる待ち時間の有効な活用	

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td>・ 検査待ちや手術待ちの改善</td><td>・ 検査待ち・手術待ち時間の改善</td><td>■ 検査待ち時間の改善
【総合医療センター】
・ 外来採血業務開始時間の前倒し【平成26年度～】
・ CT、超音波検査の当日検査枠の新設、超音波、CT、MRI検査の開始時間の前倒しを実施【平成27年度～】
・ CT及び心臓エコーの当日検査枠の増枠【平成28年度～】

【十三市民病院】
・ 採血・採尿の業務開始時間の前倒し【平成26年度～】

■ 手術待ち時間の改善
【総合医療センター】
・ 手術室の増室（15室→20室）【平成27年度、平成29年度】≪再掲≫</td><td></td></tr>
<tr><td>(3) ボランティアとの協働</td><td>(3) ボランティアとの協働
・ ボランティアの積極的な受入及び職員との連携による療養環境の向上</td><td>■ 多様なボランティアの受入れ
・ 外来患者・入院患者の案内、外国人患者の通訳、子どもの遊び相手、患者依頼品等の縫製・製作、庭園の手入れ、勉強支援などの積極的な個人ボランティアの受入れ
・ 小児病棟において、団体ボランティアの協力を得て、入院患児の遊び相手、きょうだい支援、絵本の読み聞かせ、クリスマス会、コンサートなどの実施
・ ボランティアの意見を反映し、総合案内受付、1階エレベータ及び採血・採尿室への案内サインを設置【平成29年度】

<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>登録ボランティア数（名）</td><td>113</td><td>142</td><td>167</td><td>183</td></tr>
</table>
</td><td></td></tr>
</table>

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
		≪総括≫ 【特に成果があった取り組み等】 中期目標の達成に向け、機構全体として人事給与制度の再構築や優秀な人材の確保などに取組み、各病院においてはその専門性を活かして診療機能のより一層の充実・強化や患者サービスの向上、地域医療連携の推進、業務運営の効率化などに努め、以下のような取組みを進めることができた。 ・ 診療機能の充実 【総合医療センター】 平成29年3月、3フロアに分かれていたHCU、CCU、ICUなどの重症病床を1か所に集約、この一環として小児患者集中治療室であるPICUを設置し、救急患者の受け入れを強化し、より多くの重症患者に対応 高度・専門医療の充実のため、手術室を15室から20室に増室 平成27年4月に緩和ケアセンターを設置、がん相談支援センターでの就労相談を含むがん相談を充実。外来化学療法室を17床から32床に増床 検査待ち時間の改善のため、採血・採尿検査、超音波検査、CT検査の開始時間の前倒しを実施 【十三市民病院】 HCUの新設、内科系（二次）救急患者受入体制の拡充など急性期医療の強化、合併症を有する結核患者を積極的に受入れ 【住吉市民病院】 当初の計画より2年閉院を延長し、大阪市南部基本保健医療圏に不足する小児二次救急を含む小児医療及び周産期医療の提供 ・ 短時間勤務制度の活用や看護師勤務体制の二交替制の拡充、医療技術職の変則勤務制の導入、病児保育の導入など就労環境の改善、教育研修センターを中心とした職員キャリア形成支援制度の創設 【今後の取り組み】 ・ 総合医療センターにおいて、がんゲノム医療の充実 整備した手術室、救急・重症病棟、外来化学療法室等の十分な活用 ・ 十三市民病院において、地域医療支援病院及び大阪府がん診療連携拠点病院の要件充足に向けた取り組み推進 ・ 住之江診療所の運営	

第3 業務運営の改善及び効率化、並びに財務内容の改善に関する事項		事業年度評価結果					中期目標期間の評価	評価の理由
		H26	H27	H28	H29	H30		
中期目標	中期計画	A	A	A		－	A	
1 自律性・機動性の高い組織体制の確立 (1) 組織マネジメントの強化	1 自律性・機動性の高い組織体制の確立 (1) 組織マネジメントの強化	【実績】 ■ 組織マネジメントの強化 ・ 理事会や運営会議をはじめとした各種会議を通じ医療面や経営面における課題の洗い出し、改善等に努め、理事長のリーダーシップのもと柔軟な組織運営 ・ 各病院においては、自院の経営管理や医療内容等に係る検討、その他病院運営に係る重要事項の意思決定を行う会議体を設置し、定期的に開催 ・ 総合医療センターにおいて、多職種で構成される経営改善プロジェクトチーム（PT）にて病院全体の構造・運用の再構築により、患者増加など医業収益の向上策の検討・実施に取り組む【平成26年度～】 ・ 病院長補佐ポストの新設による組織マネジメントの強化【平成27年度】 ・ 多岐に渡りかつ少人数の専門職種を有する医療技術職について、人事面での一元管理と配置の流動性を高め、人材の定着・育成を図るため、医療技術職で構成される医療技術部を創設【平成27年度～】≪再掲≫ ■ 組織内コミュニケーションの充実 ・ 全職員対象のポータルサイトを新設し、情報の共有化を推進【平成28年度～】					組織マネジメント体制の整備や人事給与制度の再構築、人員配置の弾力化など、自律性、機動性を発揮した取り組みを行い、経営基盤の安定化を図れた。
① 事務部門等の専門性の向上 ・ 事務部門等における、必要な人材の確保・育成、組織としての専門性の向上	① 事務部門等の専門性の向上 ・ 病院事務に精通する病院固有の職員の採用による更なる組織力の強化	■ 事務部門の強化に向けた取組 ・ 病院事務に精通する病院固有職員採用及び独自の研修プログラムによる人材育成 ・ 事務部門が事務的な課題を組織横断的に検討する事務部門会議を定期開催し、事務部門の組織力を向上【平成27年度～】						
② 業績を反映した給与制度・人事評価制度等の導入 ・ 公正で客観的な人事評価制度の構築及び適切な運用 ・ 個々の職員の経験、職務能力、職責などの適正な評価に基づく給与制度の構築	② 業績を反映した給与制度・人事評価制度等の導入 ・ 年功による昇給制度の見直し及び業務内容に応じた処遇の検討、資格・技能・実績を適正に評価する給与制度の構築	■ 人事給与制度の再構築≪再掲≫ ・ 年功による昇給制度を見直し、役割と業績を反映した独自の人事給与制度を再構築し、看護職、医療技術職、病院事務職、医師に順次導入【平成27年度～】 ■ 人事評価制度の再構築 ・ 人事評価制度について、評価の視点や考え方を病院事業に適した内容に変更【平成28年度】						

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td>(2) 診療体制の強化及び人員配置の弾力化
・ 勤務形態の多様化や各病院間の協力体制の整備、診療科の再編や医療スタッフの弾力的な配置</td><td>(2) 診療体制の強化及び人員配置の弾力化
・ 医療環境の変化や患者動向への迅速な対応、効率的な医療の提供、診療科の変更や再編、人員配置の弾力化

・ 市民病院間での医療従事者の交流等の実施</td><td>■ 組織体制の再編
・ 各病院において、各部門の生産性や収益性を踏まえた診療科の再編、領域・臓器別センター等の組織体制の再編【平成26年度】
・ 患者の入院前から退院までの流れを一貫して管理することにより、在院日数の適正化等を図るPFMを導入【総合医療センター：平成26年度～、十三市民病院：平成30年度～】
・ 診療報酬改定等に対する人員配置の弾力的な対応

■ 病院間での協力体制
・ 市民病院間で医師・看護師・臨床検査技師等職員の人事交流の実施
・ 各病院において、医師・医療技術職による協力体制・研修体制の整備</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>(3) コンプライアンスの徹底
・ 医療法をはじめとする関係法令の遵守、行動規範と倫理の確立

・ 個人情報保護及び情報公開について、大阪市個人情報保護条例、大阪市情報公開条例に基づく実施機関としての適切な対応、カルテなどの個人情報の保護並びに患者及びその家族への適切な情報開示

・ 業務執行におけるコンプライアンス徹底の取組</td><td>(3) コンプライアンスの徹底
・ 医療法をはじめとする関係法令の遵守、各種規程の整備と適切な運用

・ 職員及び組織全体のコンプライアンス意識の向上、公正公平な職務の執行

・ 第三者による評価</td><td>■ コンプライアンスの徹底
・ 関係法令の遵守、各種規程の随時改正による適切な運用
・ 内部監察室の設置【平成30年度】

■ 診療情報開示への対応
・ 大阪市個人情報保護条例等に基づき、適切に対応
<table><tr><th>カルテ開示件数（件）</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th></tr><tr><td>総合医療センター</td><td>109</td><td>109</td><td>168</td><td>160</td></tr><tr><td>十三市民病院</td><td>10</td><td>18</td><td>35</td><td>30</td></tr><tr><td>住吉市民病院</td><td>41</td><td>25</td><td>22</td><td>50</td></tr></table>
■ 第三者による評価
・ 監事による業務監査及び会計監査人による会計監査の実施【平成26年度～】
・ 情報セキュリティ対策として、病院情報システムに対するシステム監査の実施【平成27年度～】

■ コンプライアンス研修の実施
・ コンプライアンス体制を確立するため、法人全体及び各病院において、全職員を対象としたコンプライアンス研修（服務・情報セキュリティ・個人情報保護を含む）を実施【平成26年度～】</td></tr>
</table>

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
2 経営基盤の安定化 (1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善 ・ PDCAサイクルによる目標管理の徹底	2 経営基盤の安定化 (1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善 ・ 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる組織目標の着実な達成に向けた、病院別実施計画の作成	■ 経営管理の推進 ・ 各病院において、診療科別、部門別、病棟別の診療実績及び財務データの月次報告を作成し、前月実績、前年度同月及び目標との比較・分析を行い、現状・課題の把握及び改善	
	・ 月次報告を踏まえた経営分析や他の医療機関との比較等の実施	・ 各病院の月次報告は、法人の運営会議等で共有し、法人全体として課題の把握・改善策を検討。年度計画の達成状況を概ね四半期毎にチェックし、業務運営に反映	
・ 弾力的な予算の編成と執行、効率的・効果的な業務運営	・ 柔軟性のある予算編成、執行及び予算執行の弾力化	・ 年度や科目に捉われず、医療環境の変化等に柔軟に対応した予算の執行を実施	

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
(2) 収入の確保 ・ 診療単価向上のための取組 ・ 病床利用率、新入院患者数など、収入確保につながる数値目標の設定	(2) 収入の確保 ① 病床の効率的運用 ・ 政策医療の提供及び地域連携の強化による新入院患者数の確保、効率的な病床運用	■ 新入院患者の確保及び病床の効率的運用 ・ 総合医療センターで、成人病棟における緊急入院のベッドコントロールを看護部副部長に一元化【平成26年度～】 ・ PFM職員の専任化（ベッドコントロール担当者も配置）および人数の拡充【平成27年度～】 ・ 十三市民病院で、患者数の確保、病床利用率向上のため地域連携担当に看護師を配置【平成27年度～】 ・ 各病院において在院日数の短縮化を図る中で、救急患者の積極的な受け入れや地域医療機関との連携強化による緊急入院を含む新入院患者の確保	

病床利用率

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
総合医療センター	89.3%	83.5%	83.6%	84.1%	90.0%
十三市民病院	76.9%	77.2%	75.6%	77.1%	90.0%
区分	55.8%	52.8%	45.2%	34.3%	30.0%

住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載

新入院患者数

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
総合医療センター	22,725	23,733	24,985	26,442	22,200
十三市民病院	5,030	5,388	5,439	5,462	5,500
住吉市民病院	2,434	2,396	2,199	1,740	1,300

住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載

平均在院日数（日）	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
総合医療センター	13.3	11.9	10.8	10.1
十三市民病院	15.7	15.0	14.7	14.9
住吉市民病院	7.4	7.2	6.6	6.0

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
・診療報酬の請求漏れや減点の防止、未収金の未然防止及び早期回収	② 診療単価の向上 ・適切な施設基準の取得による診療報酬の確保 ・請求もれや査定減の防止対策への取組	■ 診療報酬単価の向上に対する取組 ・ 診療・看護体制の充実による上位施設基準の積極的な取得 【総合医療センター】 看護職員夜間配置加算、時間外加算1・休日加算1・深夜加算1の取得【平成27年度】 総合入院体制加算1、病棟薬剤業務実施加算1・2の取得【平成28年度】 特定集中治療室管理料2の取得【平成28年度】≪再掲≫ 【十三市民病院】 各種リハビリテーションの上位施設基準の届出【平成28年度】 7対1基本入院料の取得【平成29年度】 HCUの新設【平成29年度】≪再掲≫ ・ 診療報酬改定への迅速な対応、新設された施設基準の取得 総合医療センターにおける総合入院体制加算1の取得【平成28年度】 ≪再掲≫ ■ 請求もれや査定減への対策 ・ 勉強会等による診療報酬請求の精度の向上、入力誤り・入力漏れの点検の強化	

診療単価	入院・外来	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
総合医療センター	入院	73,060	76,841	80,347	84,215
	外来	18,156	20,700	22,102	21,409
十三市民病院	入院	39,196	40,556	42,556	42,897
	外来	8,715	12,047	11,592	10,688
住吉市民病院	入院	51,681	46,967	49,015	48,403
	外来	10,425	9,422	9,840	9,373

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
	③ 未収金対策及び資産の活用 ・ 積極的な未収金対策 ・ 土地及び建物の積極的な活用	■ 未収金対策 ・ 債権管理センター(専従職員)による未収債権の当初からの積極的な介入及び弁護士法人の活用により効果的・効率的に回収 ■ 資産の効果的な運用 ・ 売店、自動販売機等の設置などに公募による事業者選定を実施	

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
未収金徴収率(%)	99.1%	99.1%	99.1%	99.1%	99.6%

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td>(3) 費用の抑制
・ 給与水準や職員配置の見直し、業務の委託化等</td><td>(3) 費用の抑制
① 給与費の適正化
・ 職員の適正配置、効率的・効果的な業務執行体制確保</td><td>■ 給与費の適正化
・ 人事給与制度等の再構築による給与費の適正化【平成27年度～】≪再掲≫
・ 患者の需要見込みや職員の確保見込み、医療の質の向上、医療安全の観点、患者サービス向上、費用対効果等を踏まえた体制を整備
給与費比率
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th><th>第1期計画目標</th></tr><tr><td>総合医療センター</td><td>51.2%</td><td>50.7%</td><td>50.3%</td><td>50.6%</td><td>53.0%</td></tr><tr><td>十三市民病院</td><td>61.2%</td><td>54.0%</td><td>56.6%</td><td>57.9%</td><td>55.7%</td></tr><tr><td>住吉市民病院</td><td>92.9%</td><td>101.7%</td><td>112.4%</td><td>125.1%</td><td>197.1%</td></tr><tr><td>合計</td><td>53.9%</td><td>52.8%</td><td>52.8%</td><td>53.0%</td><td>53.5%</td></tr></table>住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>・ 材料費の抑制</td><td>② 材料費の縮減
・ SPDの効果的な活用
・ 価格交渉の実施</td><td>■ 材料費の縮減
・ SPDによる医薬品・診療材料の共同購入による材料費の削減
・ 価格交渉による材料費の調達コストの削減
・ 診療科別・理由別に診療材料の仕損内容を集計・周知
・ 診療材料の廉価製品への順次切り替え
材料費比率
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度実績</th><th>平成27年度実績</th><th>平成28年度実績</th><th>平成29年度実績</th><th>第1期計画目標</th></tr><tr><td>総合医療センター</td><td>27.2%</td><td>30.0%
(28.2%)</td><td>31.2%
(29.1%)</td><td>30.8%
(29.5%)</td><td>27.8%</td></tr><tr><td>十三市民病院</td><td>15.9%</td><td>23.5%
(17.6%)</td><td>21.7%
(18.2%)</td><td>19.9%
(18.2%)</td><td>19.4%</td></tr><tr><td>住吉市民病院</td><td>14.4%</td><td>15.0%</td><td>13.5%</td><td>13.2%</td><td>17.4%</td></tr><tr><td>合計</td><td>25.5%</td><td>28.7%
(26.6%)</td><td>29.7%
(27.5%)</td><td>29.2%
(27.9%)</td><td>26.7%</td></tr></table>実績欄の( )内の値は、C型肝炎治療薬等を除く材料費比率
住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr><td></td><td>・ 同種同効品の推進、後発医薬品の採用枠拡大による調達コストの縮減</td><td>■ 後発医薬品の採用促進
・ 法人全体で後発医薬品の採用を促進

後発医薬品採用率（品目ベース）
<table><tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr><tr><td>総合医療センター</td><td>23.0%</td><td>23.8%</td><td>24.2%</td><td>26.0%</td><td>25.0%</td></tr><tr><td>十三市民病院</td><td>31.6%</td><td>31.8%</td><td>32.5%</td><td>32.7%</td><td>30.0%</td></tr><tr><td>住吉市民病院</td><td>9.4%</td><td>8.3%</td><td>8.2%</td><td>9.6%</td><td>9.4%</td></tr></table>住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載

【参考】後発医薬品
（数量ベース）採用率
<table><tr><th></th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr><tr><td>総合医療センター</td><td>64.9</td><td>74.9</td><td>83.9</td><td>87.2</td></tr><tr><td>十三市民病院</td><td>72.0</td><td>80.2</td><td>88.3</td><td>88.8</td></tr><tr><td>住吉市民病院</td><td>15.1</td><td>21.9</td><td>22.4</td><td>26.3</td></tr></table></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>・ 経費の削減</td><td>③ 経費の節減
・ ESCO事業の活用をはじめとした光熱水費の縮減</td><td>■ 光熱水費の削減
【総合医療センター】
・ 冷凍機を省エネ型冷凍機に更新【平成26年度】
・ ポンプ及び空調機のモーターをインバータ化【平成27年度】
・ 省エネ型モジュール式空調機器の導入【平成28年度】
・ 井戸水の供給設備を設置し水道水として活用【平成29年度～】

【十三市民病院】
・ コ･ジェネレーションシステムの効率的な運転の実施【平成27年度～】</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th><th>実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み</th><th>評価の理由</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td>・ 複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の活用による費用の節減</td>
<td>■ 多様な契約手法の活用
・ 競争的契約候補者決定法の採用【平成26年度～】≪再掲≫
・ ランニングコスト付帯型入札の実施【平成26年度～】≪再掲≫

<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th></tr>
<tr><td>入札実施件数（件）</td><td>9</td><td>28</td><td>28</td><td>27</td></tr>
<tr><td>費用削減額（百万円）</td><td>24</td><td>22</td><td>16</td><td>16</td></tr>
</table>

■ 経費の縮減
・ 業務の仕様内容見直しによる委託料の削減【平成26年度～】

経費比率
<table>
<tr><th>区分</th><th>平成26年度
実績</th><th>平成27年度
実績</th><th>平成28年度
実績</th><th>平成29年度
実績</th><th>第1期計画
目標</th></tr>
<tr><td>総合医療センター</td><td>16.0%</td><td>15.0%</td><td>15.6%</td><td>15.8%</td><td>15.2%</td></tr>
<tr><td>十三市民病院</td><td>23.3%</td><td>20.1%</td><td>20.4%</td><td>21.7%</td><td>20.9%</td></tr>
<tr><td>住吉市民病院</td><td>30.8%</td><td>34.8%</td><td>36.7%</td><td>48.6%</td><td>63.9%</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>17.3%</td><td>16.3%</td><td>16.7%</td><td>17.2%</td><td>16.6%</td></tr>
</table>
住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 財務内容の改善に関する事項
(1) 運営費負担金の削減
・ 経営努力による運営負担金の削減</td>
<td>3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置
(1) 運営費負担金の削減
・ 地方独立行政法人の特長である自律性、機動性、柔軟性を発揮し、経営効率を上げることで、設立団体である大阪市からの運営費負担金の削減に取り組む。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</table>

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
(2) 会計処理の明確化 ・ 病院毎の適正な運営費負担金の投入 政策医療分と過去の過大な投資分の明確化	(2) 会計処理の明確化 ① 総合医療センター 運営費負担金 286.2 億円 資本費等(企業債元金・利息) 228.0 億円 政策医療 150.9 億円 経営努力による削減 △ 29.0 億円 市独自見直し(調整額) △ 63.7 億円 ② 十三市民病院 運営費負担金 51.7 億円 資本費等(企業債元金・利息) 42.5 億円 政策医療 23.7 億円 経営努力による削減 △ 14.5 億円 ③ 住吉市民病院 運営費負担金 11.2 億円 資本費等(企業債元金・利息) 5.2 億円 政策医療 6.0 億円 ④ 府市共同住吉母子医療センター 運営費負担金 2.0 億円 資本費等(企業債元金・利息) 0.5 億円 政策医療 1.5 億円 ⑤ 住吉市民病院(閉院延長に伴う特別措置分) 運営費負担金 21.2 億円 ⑥住之江診療所 運営費負担金 1.8 億円	① 総合医療センター 運営費負担金 288.9 億円 資本費等(企業債元金・利息) 217.9 億円 政策医療 155.9 億円 経営努力による削減 △ 29.0 億円 市独自見直し(調整額) △ 55.9 億円 ② 十三市民病院 運営費負担金 49.8 億円 資本費等(企業債元金・利息) 41.5 億円 政策医療 24.5 億円 経営努力による削減 △ 16.2 億円 ③ 住吉市民病院 運営費負担金 11.0 億円 資本費等(企業債元金・利息) 5.2 億円 政策医療 5.5 億円 住吉母子医療センター整備 0.3 億円 ④ 府市共同住吉母子医療センター 運営費負担金 1.7 億円 資本費等(企業債元金・利息) 0.2 億円 政策医療 1.5 億円 ⑤ 住吉市民病院(閉院延長に伴う特別措置分) 運営費負担金 20.2 億円 ⑥ 住之江診療所 運営費負担金 1.8 億円	

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
(3) 経営指標の設定 ・ 自己資本比率及び医業収支比率の進捗管理	(3) 経営指標の設定 ・ 自己資本比率、経常収支比率、医業収支比率の目標達成に向けた経営改善への取組	■ 自己資本比率の進捗管理 ■ 経常収支比率の進捗管理 ■ 医業収支比率の進捗管理	

■ 自己資本比率の進捗管理

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
自己資本比率	1.4%	4.0%	4.8%	5.6%	2.6%

■ 経常収支比率の進捗管理

経常収支比率

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
総合医療センター	91.6%	90.9%	89.8%	89.3%
十三市民病院	74.6%	81.0%	79.9%	81.4%
住吉市民病院	67.3%	63.0%	54.4%	48.8%
合計	88.3%	88.3%	86.7%	86.3%

■ 医業収支比率の進捗管理

医業収支比率

区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	第1期計画目標
総合医療センター	93.6%	90.8%	89.2%	88.9%	90.2%
十三市民病院	79.3%	82.6%	81.9%	84.5%	87.5%
住吉市民病院	67.6%	61.0%	50.5%	44.4%	31.8%
合計	90.5%	88.4%	86.3%	86.2%	88.7%

住吉市民病院の第1期計画目標は平成27年度計画目標を記載

中期目標	中期計画	実績 ・ 特に成果があった取り組み等 ・ 今後の取り組み	評価の理由
		【特に成果があった取り組み等】 ≪総括≫ 法人においては、理事会や運営会議を定期的に開催し、月次決算等の報告を行いながら迅速な意思決定を図った。各病院においては、病院長をはじめとする病院幹部が院内委員会や職員全体説明会等を通じて職員に経営状況等を発信するとともに病院運営の課題を共有し、対応策の検討を行い、以下のような取り組みを通じ、経営改善を図ることができた。 ・ 年功による昇給制度を見直し、役割と業績を反映した独自の人事給与制度を再構築し、看護職、医療技術職、病院事務職、医師に順次導入した ・ 総合医療センターにおいては、病院長をトップに、病院幹部から実務責任者までが参画する経営改善プロジェクトチーム（PT）を引き続き開催し、全職員が一丸となって病院改革に取り組んだ結果、大学病院本院に準じる医療機能を有する病院であるDPC特定病院群（旧DPCⅡ群）についても引き続き厚生労働省より認定された。 ・ 各病院において在院日数の短縮化を図る中で、救急患者の積極的な受け入れや地域医療機関との連携強化による緊急入院を含む新入院患者が増加し、診療単価のアップにもつながった。その結果、医業収益の増（H26（通期）：363億円、H27：388億円、H28：406億円、H29：417億円）に繋がった。 ・ 医業収支比率は、平成26年度は、第1期計画目標の88.7%を上回り、その後目標にはわずかに達しない実績（H26：90.5%、H27：88.4%、H28：86.3%、H29：86.2%）ではあるが、概ね目標に達した。毎年度利益（H26（半期）：8億円、H27：20億円、H28：6億円、H29：3億円）を出すことができたため、29年度決算時点で自己資本比率は当初の目標2.6%を超え、平成29年度は5.6%となっており、経営基盤の安定化が図れてきた。 【今後の取り組み】 ・ 病院情報システム更新において患者や情報、業務等の効率性の向上 ・ 業績や課題をより的確に把握できるKPI（Key Performance Indicator＝重要業績評価指標）を設定し、業務運営に活用	